

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

863

コンベンション推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業		観光振興事業	
	中事業		コンベンション推進事業	

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 観光課 南方 盛治 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	コンベンション参加者の宿泊増加を図り、観光リピーターの創出を図る。		「学会」「会議」「各種大会」「見本市」等の催しに参加し、和歌山市内で宿泊する参加者の延べ人数51人以上のコンベンション主催者に対し補助する。		
事業内容	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
	コンベンション主催者への補助、補助制度のPR	コンベンション主催者への補助、補助制度のPR	コンベンション主催者への補助、補助制度のPR	コンベンション主催者への補助、補助制度のPR	コンベンション主催者への補助、補助制度のPR

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	28,906	21,508	28,999	4,074	19,787	4,777	19,787	0	19,787	0
伸び率(%)	△0.1%	△22%	0.3%	△81.1%	△31.8%	17.3%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	11,357	12,484	12,342	11,784	11,481	12,024	11,403	0	11,403
	正規職員以外	662	844	217	217	230	230	230	0	230
	小計	12,019	13,328	12,559	12,001	11,711	12,254	11,633	0	11,633
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	28,906	21,508	28,999	4,074	19,787	4,777	19,787	0	19,787	0
所要人数(人)	正規職員	1.41	1.55	1.55	1.48	1.48	1.55	1.47	0.00	1.47
	正規職員以外	0.29	0.37	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	0.10
主な予算内訳	全国大会誘致和歌山市議会議員連盟交付金 1,000千円 和歌山市コンベンション事業推進補助金 18,691千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
大会開催回数		件	目標値	80	80	80	80	80
			実績値	74	12	16		
			達成度(%)	92.5%	15%	20%	%	%
宿泊者数		人	目標値	24,800	24,800	24,800	24,800	24,800
			実績値	25,296	5,701	4,709		
			達成度(%)	102%	23.0%	19%	%	%
大会参加者数		人	目標値	37,200	37,200	37,200	37,200	37,200
			実績値	39,558	4,920	6,982		
			達成度(%)	106.3%	13.2%	18.8%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山市でコンベンションを開催しようとする者を支援することにより、市内での宿泊者の増加に寄与している。宿泊事業者から一層の補助金拡充を求める声もあることから、民間事業者にとっても効果を実感できる有効な補助金といえる。
見直し・改善内容	大会主催者・参加者の満足度を向上させる方法を研究するとともに、和歌山市での大会等開催について誘致を進めていく。